

第3章 大阪市の取組

5 若者の活躍促進

(1) 若者の就労支援

大阪市では、若者・女性が力を十分に発揮し、活躍できる社会づくりを進めているところであり、とりわけ、若者に対しては、「しごと情報ひろば」や平成28年度若者就労支援事業「若者就業支援プログラム」を改編した若者・女性への就労支援事業「キャリアデザインOSAKA」（※若者・女性共用の呼称）を通じて、社会人としてのコミュニケーション能力向上のガイダンスや相談等を通じて働く意識付けを図るとともに、自分に合った仕事を見つけるための適性診断やカウンセリングなど就職準備段階から、中小企業等を対象に幅広いマッチング機会の提供、就職後の職場定着までの切れ目のない、ワンストップでのきめ細かな支援を行っている。

(ア) 取組の成果

「しごと情報ひろば」は、若者に対し、就職準備から就職、就職後の職場定着まで、一貫して切れ目のない支援を行う、ワンストップの総合相談窓口として役割を果たしている。さらに、相談窓口にはわざわざ出向かない若者も多い中、一人でも多くの若者を支援するため、大学へ出向いての相談や就職支援イベントといった窓口以外の場所で、若年求職者を掘り起こすアウトリーチ型・掘起し型相談・コーディネート業務を実施しその実績として、457人の参加を得たところである。

平成29年度は、しごと情報ひろば西淀川で実施していた少人数による就活ゼミナールを、しごと情報ひろば平野、しごと情報ひろば天下茶屋にも拡大し実施している。特に天下茶屋においては、講師にハローワーク職員の協力を得ている。

平成29年8月末現在、263名の参加者を得ている。

【しごと情報ひろばアウトリーチ型・掘起し型相談・コーディネート業務の実績】

(平成28年度)

名称	回数	参加者数
若者応援フェア (会社求人説明会)	7	238
就労支援セミナー (出張面談会、業界研究セミナー)	35	193
その他セミナー (ワークライフバランスなど)	2	26

※就職者9人(アウトリーチ事業全体を通じた人数)

(平成 29 年度 8 月末現在)

名称	回数	参加者数
若者応援フェア (会社求人説明会)	4	114
就労支援セミナー (出張面談会、業界研究セミナー)	33	128
その他セミナー (ワークライフバランスなど)	2	21

また、「若者就業支援プログラム」としては、仕事に就き継続して働くことについての意識付けや適性に合った仕事選びのためのキャリアデザインセミナーの開催、若者の採用・人材育成や女性が働き続けられる職場づくりに積極的に取り組む企業等とのマッチングイベントの開催、就職内定後の定着支援などを行い、若者の安定した就職に向けた支援を行った。マッチングイベントでは、大阪府をはじめ、堺市、大阪府内 7 信用金庫および大阪府信用金庫協会との連携による開催も実施した。平成 28 年度の実績としては、各種セミナー・研修参加者数が 545 人、マッチングイベント（しごと応援フェア）参加者数が 962 人で、就職者数は 167 人となっている。

平成 28 年度【若者就業支援プログラム】

名称	回数	参加者数
しごと応援フェア (合同企業説明会)	13	962
キャリアデザインセミナー	51	502
内定者研修	2	43

平成 29 年度【若者への就労支援事業】

名称	回数	開催予定日
しごと応援フェア (合同企業説明会)	4	9 月 21 日 (64 名) 10 月 23 日 11 月 10 日 1 月 25 日
キャリアデザインセミナー	10	9 月 7 日 (6 名) 9 月 21 日 2 回 (34 名) 10 月 6 日 10 月 23 日 2 回 11 月 10 日

		12月11日 1月25日2回
内定者研修	2	未定

(イ) 今後の取組

「しごと情報ひろば」、若者の就労支援事業においては、一人でも多くの求職者を支援できるよう、引き続き、大学との連携や若者が集まる場所へのアウトリーチをはじめ、求職者を掘り起こすアウトリーチ型・掘起し型相談・コーディネート業務を積極的に展開するとともに、SNSなど若者が日ごろ利用する情報収集ツールを活用するなど、情報発信を効果的に行う。

若者の就労支援事業の提供プログラムとしても、9月以降、セミナー、マッチングイベントを順次開催していくことにしているが、求職者及び求人企業のニーズをふまえ、働くことの意義や職業選択における適性診断、コミュニケーション能力といった社会人として身につけるべき能力向上に向けたガイダンスを行うとともに、関係機関、金融機関（池田泉州銀行、大阪府信用金庫協会等）と連携を図りつつ、大阪市女性活躍リーディングカンパニー認証企業をはじめ、くるみん、若者応援宣言企業を中心とした合同企業説明会を開催する。また、若者の早期離職防止に向け、企業に対し、「若年離職を出さないための取組」や「仕事と家庭が両立できる職場環境整備」、「女性のキャリアアップを支援する取組」等をテーマとした企業向けガイダンスを実施する。

(2) 中・高生へのキャリア教育

子どもたちの進路をめぐる環境が大きく変化している中、子どもたちが「生きる力」を身につけ、社会人・職業人として自立できるキャリア教育の推進が社会全体で求められている。

このような状況を踏まえ、大阪市教育振興基本計画において、「社会的・職業的自立に向け、子どもの勤労観・職業観を育てるため、企業や団体の協力による職業講話や職場見学、職場体験学習など、子どもの発達段階に応じて体系的・系統的にキャリア教育を進めます」と示されている。

(ア) 取組の成果

○中学生・・・キャリア教育推進のために体験的な学習（3日間程度の職場体験学習・ボランティア学習）。

平成28年度：130校中125校で職場体験学習等を実施。

○高校生・・・インターンシップ（企業、施設、学校等での就労体験）、地域連携（商品販売、商品開発、広報活動など）、大学連携（見学会、模擬授業、課題発表など）等の体験的な学習。

平成 28 年度：インターンシップ実施状況

参加者延べ 739 名（修学旅行での就労体験を含む）

地域との連携

企業経営者による社会人育成講座

地域イベントへの部活動（吹奏楽部等）の参加

「生野まつり」ものづくりブース設置 35 名

「西淀川ものづくりまつり」ものづくり教室 22 名 など

(イ) 今後の取組

生徒のキャリアアップを目的に、働くことに自信が持てない若者の自立支援事業である「コネクションズおおさか」による「出前セミナー」の実施校の拡充を図る。